

◎ 小項目評価（判断理由等）

1 住民サービス等質の向上（住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
①地域完結型医療の推進【2～4 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	患者紹介率は 90%を僅かに切ったが、これは自己評価にもあるように、新型コロナウイルス感染症の影響によることから、大きな懸念はない。一方で、各診療科に対し診療情報提供書の作成を促進した結果「逆紹介率」が大きく伸びている。また、「あじさいネットカルテ」については新型コロナの影響で、新規紹介患者数が減少したことから、新規登録者数や閲覧件数が対前年度で大きく減少している。地域医療従事者対象の研修会については、全項目で目標を大きく下回る結果となったが、これについては新型コロナウイルス感染対策の影響によるものであることを確認している。また、通常とは異なる状態ではあったものの、引き続き「紹介率」、「逆紹介率」とともに高い水準で維持されていることなどから、肝心の地域の医療機関との連携は保たれているものとみられる。指標の実績からは評価はDであるが、新型コロナウイルスの影響とみられることからC評価とする。
②提供する医療サービスの充実（救急医療）【5～7 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	令和2年度に医療センターが受け入れた「救急車・ヘリ搬送件数」は、対前年度比で 11.4%減少（3,350 件→2,967 件）した。一方で、重篤な患者の受け入れ割合については、大きく伸び（45.8%→50.6%）ている。統計の期間にズレはある（※）ものの、本市消防局管内における、救急搬送人員も対前年比 7.9%の減少（14,541 人→13,393 人）となっており、これについては新型コロナの感染拡大などを受けた社会全体の行動自粛などが、救急患者の減少に影響したものと思われる。 各指標については、全体の救急患者の動きに比例して減少するなど目標には達していないものの、疑い含む新型コロナの救急患者をはじめ、通常の救急患者の受け入れについても順調に行われている。加えて、救命救急専門医 1 名を確保するなど、特殊事情のある中、努力の状況が見て取れる。指標となる患者数の実績だけ見れば評価はDであるが、新型コロナウイルスの影響とみられることからC評価とする。
③提供する医療サービスの充実（がん医療）【8～10 P】	B 計画を上回って	B 計画を上回って	B 計画を上回って	がん治療については、一般的に平均在院日数が減少する一方で、通院治療を受ける患者が増加傾向にあるといわれ、医療センターの指標からもそうした傾向がうかがえる。各指標については、入院患者数を除きすべて目標を達成しているほか、遺伝性腫瘍に対する治療体制の充実が図られたほか、昨年度、がんゲノム医療連携病院に指定されたことにより個別治療が充実したなど、地域がん診療連携拠点病院として積極的な取り組みが続けられている。なお、がん相談件数については、令和元年度に、国立がん研究センターが公表したカウントの方法を基に、延べ患者から実患者へ変更したことから、目標値自体を大きく修正している。一方で、これまでカウントできていなかった相談についても精査し計上した結果、実績は目標を超える結果となった。本項目においては、指標の状況や、新たな事業への取り組みなどを考慮し、計画を上回って進捗しているとしてB評価とする。
④提供する医療サービスの充実（小児・周産期医療）【11～12 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	正常分娩、異常分娩ともに患者数が減少した。これは、新型コロナウイルスの影響で、主に里帰り分娩が減少したことによるものと分析されている。また、NICU や小児病棟の病床稼働率についても、新型コロナウイルスにより病院全体でも患者数が減少する中、大きく減少し、目標にも届かなかった。一方で、万全な感染対策のもと、新型コロナウイルス陽性患者の分娩にも対応するなど、地域周産期母子医療センターとしての機能を十分発揮し、その役割を果たしている。このほか、重要としている小児科医 9 名の確保は維持している。指標の実績だけ見れば評価はDであるが、新型コロナウイルスの影響とみられることからC評価とする。
⑤提供する医療サービスの充実（高度専門医療）【13～15 P】	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	MRI による「乳腺腫瘍画像ガイド化吸引術」や「経皮的下肢動脈形成術」など 5 つの施設基準（いずれも手術に関するもの）を新たに取得することで、より高度な医療の提供が可能となった。各指標については、新型コロナ対策により、一部病床制限や手術の制限を行ったことなどから、すべての指標において対前年度比でマイナスとなり、一部を除き目標を下回る結果となった。手術制限については、自己評価に「可能な限り最小限となるよう努めた」とあるが、これについては、全日本病院協会などが行った調査と比較しても、その減少率の幅が小さく抑えられていることなどから、できるだけ医療の提供に支障を来さないよう努力されていることがうかがえた。一部目標に届かない指標があることから本来はC評価であるものの、新型コロナウイルスの影響によることに加え、特に 5 つの施設基準を取得したことなどが特筆されることから、全体的に見てB評価とする。
⑥提供する医療サービスの充実（政策医療）【16～19 P】	B 計画を上回って	B 計画を上回って	B 計画を上回って	離島医療について、宇久診療所では、新型コロナの影響もあり、対前年度で患者数が大きく減少したものの、感染症専用の診察室を設けるなど、地元住民にとって安心安全な医療の提供に努めた。また、黒島、高島両診療所の患者数については、対前年度比で黒島は 1 日平均▲0.2 人（10.1 人→9.9 人）、高島診療所は 0.1 人（9.5 人→9.6 人）と、ほぼ変わらず、患者数からは新型コロナの影響は見受けられず、目標値も超えている。結核病棟については昨年度末に引き続き新型コロナウイルス感染症の受入れ専用病棟としたことなどから、「結核病棟延患者数」に計上されている人数は、新型コロナ関連の患者数である。 特に、感染症指定医療機関として新型コロナへの対応については、主に重篤な患者を引き受ける一方で、救命救急センターとして一

				般の救急患者の治療にもあたった。さらに離島の付属診療所においては、コロナ禍にありながら前述のとおり安定した診療が提供されている。本項目においては、ある意味計画を超えた突発的な感染症の発生にも関わらず、地域の関係機関とも連携し、市民に必要な政策医療の提供ができたとして、B評価とする。
⑦医療人育成体制の充実 (医師の研修制度の充実)【20～22 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	医療機関にとっては将来の医師確保や魅力度のバロメーターともいえる研修医の確保・育成に関しては、基幹型、協力型ともに前年度と変わらず合計 30 名であったが、目標値には届かなかった。医学生の実習受け入れについては新型コロナの影響により、一部派遣する学校側が市外県外への移動制限をとったことなどから、昨年度比で減少した。また、専門医の育成については昨年度と同数でほぼ目標に準じたプログラムに取り組んだ。地域及び院内の医師を対象とした研修会の開催については、新型コロナの感染対策のため、地域において開催予定としていた研修会は、すべて中止せざるを得ない状況となり、院内の研修についても目標を大きく下回った。 以上のとおり指標については目標を下回った項目が多く本来ならD評価であるものの、新型コロナウイルスの影響によることを踏まえC評価とする。
⑧医療人育成体制の充実 (看護師・薬剤師をはじめとする医療従事者の育成の充実)【23～26 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	指標に関して、医療従事者の育成については「その他の医療技術者」を除き目標を達成している。達成できなかった職種については、新型コロナの影響で、認定試験が中止されたことなどによるものである。学生実習の充実についても、新型コロナの影響により、計画通りには行かなかった。また、中高生の受け入れについても同様の理由で中止され実績はなかった。 以上のとおりほとんどの指標で目標に到達できず、本来ならD評価であるものの、新型コロナの影響によることや、リモートによる講義の実施など、それぞれ代替手段を用いて可能な限りの対応をされていることなどからC評価とする。
⑨医学研究の推進【27～28 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	治験の件数については継続的に 10 件程度の契約を目標に進めてきたが、実績はその半分にとどまり、対前年度比でも 2 件減少している。その主な理由としては、新型コロナの影響で製薬会社の訪問が制限され、治験に必要な事前の病院評価ができなかったことなどによるものである。一方で、臨床研究審査件数については、対前年度比で 10 件増加し、目標を達成することができた。これについては、コロナ禍により休止する研究がある一方で、新型コロナに関する研究を行ったことで増加したものである。なお、治験の活動の内容については、委員会の会議録等をホームページに掲載するなど院外にも情報発信されている。以上のとおり、治験の件数が大きく落ち込んでいることから、本来ならD評価であるものの、コロナ禍で新規契約が制限されるなど特殊事情による影響が大きかったことなどを踏まえ、全体的にはC評価とする。
⑩医療の質の向上(施設、設備の充実)【29～30 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	空調機器の改修については、平成 20 年度から毎年度計画的に更新作業が進められている。また、照明器具の改修については令和 2～5 年度までの間で、院内及び敷地内のほぼすべての照明をLED化する計画であり、これにより施設・設備の充実が図られることとなる。 医療機器については、CT装置の更新が行われるなど概ね計画通り進捗しているものとしてC評価とする。
⑪医療の質の向上(医療従事者の確保)【31～32 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	指標における令和 2 年度の目標に対する実績の割合(充足率)は、医師 99.4%、看護師 98.2%、薬剤師 84%、医療技術職 98.4%、事務職等 95.6%であった、このうち最も割合の低い薬剤師については、目標より 4 名少ないものの平成 31 年度から新設した奨学金返還の貸付制度の創設など、人員の確保に努めた結果、2 名増員している。また、事務職等については給食部門の調理や配膳、看護補助者や医師事務作業補助者が主な不足の要因となっている。看護師については目標 606 人に対し 595 人と 11 人不足しているが、7 対 1 看護体制の維持など、病院の運営や中期計画に影響を及ぼすほどの状態ではない。全体的に見て目標を若干下回ってはいるものの、コロナ禍にありながら、対前年度比ではすべて増加していること、充足の状況は薬剤師を除きすべて 95%を超えていることなど、概ね計画通りとしてC評価とする。
⑫医療の質の向上(患者サービスの向上)【33～36 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	入院及び外来患者を対象とした患者満足度調査のアンケート結果については、平均で5点満点中4.2点であり、昨年度と変わらず目標を0.3点下回った。また、満足をした人の割合は、87.6%と目標の90%を2.4ポイント下回ったが、前年度の85.9%から1.7ポイント改善している。この結果については、その内容を確認し院内施設の改装等を行うなど療養環境の向上に努めている。患者相談(がん除く)については、医療相談や福祉相談、退院調整等に関する相談を受けているが、令和2年度については主に医療ソーシャルワーカーによる退院調整等の対応強化が図られたことなどにより、その相談件数が増え前年度実績、目標値ともに超えている。また、職員の接遇研修については院外講師を招き実施されたが、新型コロナ対策のため本年度は看護師など患者と直接対応する職員の参加を基本とし、そうでない部署については、代表1名が参加するといった人数制限により実施した。その結果、参加率は目標には届かず、前年度からも大きく減少した。ボランティア活動については、コロナ禍により通常の活動ができなかったようであるが、その収束を見越した受け入れ活動は行われている。指標上、職員の接遇研修の実績が目立って目標値を下回っており、本来であればD評価であるが、コロナ禍という特殊事情を踏まえC評価とする。
⑬ 医療の質の向上(安全性の高い信頼される医療)【37～40 P】	B 計画を上回って	B 計画を上回って	B 計画を上回って	新たに導入された「床頭台」には情報端末がセットされており、そこにはカルテと連動した患者情報がもれなく表示されるほか、計測したバイタルサインが自動で登録されるため、誤入力、未入力が無くなりタイムラグも発生しないなど、安全性プラス効率性の向上が図られている。院内感染対策については、対策委員会及び感染制御部の指導の下、徹底した対策がとられたほか、新たに感染対策用に設置されたコンテナ診察室の使用に関することや、个人防护具(PPE)の着脱手順に関する説明等が行われた結果、受講率は 98.5%であった。 なお、8 月に医師 2 名が新型コロナウイルスに感染したが、直ちに患者 395 人、委託業者などを含む病院職員 1,372 人の計 1,767 人を

				検査したことなどにより、早期に収束している。患者中心の医療の実践についても、手術処置等説明用の、説明書・同意書の整備を行うなど、インフォームドコンセントの充実が図られている。指標の院内研修会については、両研修会とも前年度より 0.5 ポイント高い受講率となっており、限りなく目標値に近づいた。感染症の重症患者を受け入れるという計画を超えた非常にハードかつデリケートな医療の提供を求められたが、その使命は果たされていることなどから、全体的に見て計画を上回っているとしてB評価とする。
⑭ 情報提供の充実（分かりやすい保健・医療の情報発信） 【41～42 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	市民向け講演会については、年間 11 回の集合式で開催するよう計画していたが、新型コロナウイルス感染予防ため、開催できなかった。その代り、We b形式により、「変わりつつある膵癌の治療」など 3 件のテーマで動画による講演が 2 回配信された。その結果、動画の視聴者は 212 人であった。なお、自己評価にもあるように、新型コロナに関する情報について、病院のホームページで速やかに、かつ分かりやすい情報の発信に努めている。市民向け講演会の開催数や参加人数は目標に届いておらず、D評価となるところであるが、これは新型コロナの影響によるものであり、年度末からは、工夫を凝らし動画配信により実施されたことや、広報紙も引き続き発行されたなど、特殊事情を除けば概ね計画通り実施されていることからC評価とする。
⑮ 情報提供の充実（病院情報の公開） 【 43 P 】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	ホームページで確認した結果、患者数や病床稼働率などの基本指標がわかりやすく情報提供されている。加えて疾病統計については英語表記もされるなど、外国人への対応もできている。目標とする客観的に評価可能な臨床指標による病院情報の提供に努められており、概ね計画通りとしてC評価とする。

2 業務運営の改善及び効率化（業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
① 法人管理運営体制の確立（適正な法人管理体制の構築）【44 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	理事会や経営会議については定期的に行われており、理事長のリーダーシップのもと計画的に実施されている。 また、コロナ禍ではあったものの、契約監視委員会も開催されたほか、内部監査も実施された。本項目についても概ね計画通り進んだものとしてC評価とする。
② 法人管理運営体制の確立（効率的な病院運営） 【45～46 P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	引き続き、薬剤師など一部の職種において確保が困難な状況もみられるが、「医療従事者の確保」の項目でもふれたとおり努力されているほか、適正な人員配置などによりにその運営に支障をきたしている状況は見られない。また、地方独立行政法人の特性である柔軟性のある予算執行や複数年契約などにより、効率的な病院運営に努めている。本項目においても概ね計画通り進んだものとしてC評価とする。
③ 経営管理人材の育成 【47～48 P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	本年度は、コロナ禍にあり集合研修への参加が困難であったことから、事務部職員の係長職を中心に、We b形式による研修会に参加した。本項目においては特に指標は設定されていないが、2つの研修に計 5 名が参加し経営管理人材の育成に努めた。必要最低限の研修への参加となったことから、本来はD評価となるがコロナ禍の影響によるものと判断しC評価とする。

3 財務内容の改善（財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置）

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
① 経営基盤の確立【49～50 P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	医業収支比率は昨年度より 4.4 ポイント減少し目標を 5.9 ポイント下回った。これは、主に新型コロナウイルスへの対応のため行った病床の確保（空床確保）や、受診控えなどにより入院、外来ともに患者数が減少したことによるものである。一方で、経常収支比率は、昨年度より 10.6 ポイント増加し、目標を 10.7 ポイント上回った。これについては主に、新型コロナ対応のための空床補てんの補助金受け入れの影響などによるものである。決算では、本来収益となったはずの医業収益は大きく減少したものの、その代りとなる補助金が医業収益外で得られたことなどから、医業収支比率は下がったが、補助金を含めて計算される経常収支比率は大きく向上した。また、毎月開催される病院運営会議では、診療科別の収入実績の確認や経営指標を基にした状況説明が行われ、収入の確保に努められている。なお、経常収支比率が計画を大きく上回っており、数値だけ見ればB評価といえるものの、これには新型コロナウイルス対策のための補助金収入の影響が大きいとみられることなどから、概ね計画通りとしてC評価とする。
② 適正な収益と費用（適正な収益） 【51～52 P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	新型コロナウイルス感染対策の影響などにより、患者数は大きく減少したものの、診療単価については、入院、外来ともに増加した。この理由については、主に DPC 特定病院群の認定や新たな施設基準の取得などによるものであるが、その効果額は、概算で約 1.6 億円程度と試算されている。このように医業収益については、一定の努力もあり診療単価を伸ばすことで収益も伸びたものの、それを上回る患者の減少がみられ、特に入院収益においてはその影響を大きく受けたことから、医業収支は大きなマイナスとなった。このマイナス

				は、新型コロナウイルスの影響によるものであるため、県から空床補てん補助金等の名目で補てんされており、結果的に収益の総額は195億円と前年度比12.1億円の増収となっている。なお、額だけ見れば計画を大きく超えた増収でB評価に値するが、新型コロナの補助金収入の影響が特に大きかったことなどから、総合的に判断してC評価とする。
③ 適正な収益と費用（適正な費用）【53～55P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	医業収益が大きく減少する一方で、薬品費や診療材料といった材料費も減少している。これは患者数の減によるものである。本項目の指標については、薬品費比率、診療材料費比率とも、前年度より下がっている。比率の積算根拠は医業収益を分母に、薬品費や診療材料費などの費用を分子として算出するが、いずれも1割程度下がっている。（対前年度比：医業収益 91.8%、薬品費 88.9%、診療材料費 89.5%）ただし、若干費用側の減少率が大きいことから、費用の削減努力に一定の効果があったことが推測される。また、人件費比率は逆に増加しているが、これは分母となる医業収益が大きく減少する一方で、固定費である給与費はほぼ前年度並み（対前年度比：100.2%）であったことによるものである。後発医薬品の使用率は対前年度で増加しており、目標も超えている。医業収益の大幅な減少で人件費比率が大きく増加してはいるものの、特殊事情によるものであることや、薬品費などでは費用削減の努力がみてとれることなどから、概ね計画通りとしてC評価とする。
④ 予算、収支計画、資金計画【62～67P】	C 概ね計画通り	B 計画を上回って	C 概ね計画通り	【予算】 予算については、収入総額において決算額が計画額を6億2,700万円上回り、支出総額では決算額が計画額を11億5,300万円下回った。収入決算額が計画額を上回った理由については、新型コロナの影響で入院、外来といった医業収益が見込みより22億2,000万円下回ったものの、その補てんに対する県補助金など、補助金等収益が27億6,900万円増加したことによるものである。一方の支出については、感染対策のために必要な医療機器を購入したことなどから、建設改良費で1億8,200万円見込みを上回ったものの、新型コロナの影響で患者数が減少したことで、材料費が9億1,700万円計画を下回ったことなどから、支出総額が大きく計画額を下回ったものである。 【収支計画】 収支計画では純利益が計画より18億7,800万円多い19億2,500万円となり、計画を大きく上回る利益が計上されている。収入では予算同様、医業収益が見込みを大きく下回ったが、補助金等収益がこれを超える伸びを見せ、収益全体では計画より5億5,300万円多い結果となった。一方、費用においても予算同様の動きにより材料費が計画より8億3,300万円減少するなど費用の合計では、13億2,500万円減少した。その結果、収入は増加、費用は減少し、それぞれが黒字に作用したことから、見込みを大きく上回る純利益が計上されている。 【資金計画】 資金計画については、当初の見込みより3億9,600万円多い50億4,600万円を翌事業年度に繰り越している。これは主に、補助金等の業務活動による収入が増加する一方で、材料費などの業務活動による支出が減少したことによるものである。その他の各評価指標に関しては、黒字が大きかったことから全体的には目標値や前年度実績を上回っているが、医業収益を積算根拠とする指標については逆に下回っている。自己資本比率や流動比率といった数値を見ても、安全とされる数値はクリアしており、全体的に対前年度からは好転している。なお、純利益が目標値を大きく超えており、B評価が適当と考えられるが、これが新型コロナの影響によるものであることから、概ね計画通りのC評価とする。

4 その他業務運営に関する重要事項

小項目 区分	法人自己評価	評価者評価		評価者の評価内容
		通常評価	最終評価	
① 地域医療構想の実現に向けた取組み【56～57P】	C 概ね計画通り	D 計画を下回って	C 概ね計画通り	新型コロナウイルス感染症患者への対応を行いつつ、高度急性期の医療機関として一般の重症患者の受け入れも行った。また、地域がん診療連携拠点病院として体制の充実を図るなど引き続き、佐世保県北地域の高度急性期医療の充実と地域完結型医療構築に向け、取り組まれた。地域医療構想に関する会議については、コロナ禍により、会議自体が開催されなかった。新型コロナの影響で、委員参集による地域医療構想調整会議は開催されなかったものの、医療センターの地域における役割自体は変わらず、前述のとおりその充実に向けて努められている。本項目においては会議が開催されず、構想に向けた動き自体が全国的にもストップしていることからD評価が妥当と判断されるものの、新型コロナウイルスによる影響であることなどからC評価とする。
② 働き方改革の推進【58～59P】	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	C 概ね計画通り	令和2年度は、2024年度から適用が開始される医師の勤務時間の上限規制を見据え、院内に「医師の働き方改革プロジェクト」を立ち上げ、その対応への取り組みが本格化されている。また、医師事務作業補助者による新たな業務拡大により、外来診療における医師業務の負担軽減を図るなど、勤務医の負担軽減にも取り組まれた。以上の通り、引き続き医師を中心とした職員の健康やワーク・ライフ・バランスの確保に向けて、取組まれているものと見てC評価とする。
③ 災害時における事業継続性の強化【60～	B 計画を上回って	B 計画を上回って	B 計画を上回って	引き続き、新型コロナウイルス感染症対応のため、災害医療対策本部は定期的開催されており、患者の受入れ体制の整備や院内感染対策などについて検討された。一方で、感染対策から、災害医療訓練は中止されたものの、台風の接近や停電など、災害対応が必要な事態が発生した際には対策本部を立ち上げ、BCPに基づく対応が取られた。なお、災害医療BCP(業務継続計画)については、令和2年度も

61P】				必要な見直しが行われ、その精度は向上している。特殊事情により災害医療訓練は実施できなかったものの、新型コロナウイルス感染症対応のため、ある意味訓練を超えたレベルの充実は図られている。昨年同様、計画を上回って進捗しているとしてB評価とする。
------	--	--	--	---

◎ 大項目評価 ※（ ）書きは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない場合

1 住民サービス等質の向上	2 業務運営の改善及び効率化	3 財務内容の改善	4 その他業務運営に関する重要事項
C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 B：4、C：1 1】 (評価者評価 通常 B：3、C：4、D：8)	C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 C：3】 (評価者評価 通常 C：2、D：1)	C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 C：4】 (評価者評価 通常 B：3、C：1)	C 概ね計画通り 【評価者評価 最終 B：1、C：2】 (評価者評価 通常 B：1、C：1、D：1)

1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目評価の結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる）

	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	合計
小項目数	0	4（3）	1 1（4）	0（8）	0	1 5 項目
点数	0	1 6（12）	3 3（12）	0（16）	0	4 9 点（40 点）

【平均点】49点 ÷ 15項目 = 3.27 ≒ 3点（評価区分 C）
(40点 ÷ 15項目 = 2.67 ≒ 3点（評価区分 C）)

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目評価の結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる）

	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	合計
小項目数	0	0	3（2）	0（1）	0	3 項目
点数	0	0	9（6）	0（2）	0	9 点（8 点）

【平均点】9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点（評価区分 C）
(8点 ÷ 3項目 = 2.67 ≒ 3点（評価区分 C）)

3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置 大項目の評価結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる）

	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	合計
小項目数	0	0（3）	4（1）	0	0	4 項目
点数	0	0（12）	1 2（3）	0	0	1 2 点（15 点）

【平均点】12点 ÷ 4項目 = 3.00 = 3点（評価区分 C）
(15点 ÷ 4項目 = 3.75 ≒ 4点（評価区分 B）)

4 その他業務運営に関する重要事項 大項目の評価結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる）

	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	合計
小項目数	0	1（1）	2（1）	0（1）	0	3 項目
点数	0	4（4）	6（3）	0（2）	0	1 0 点（9 点）

【平均点】10点 ÷ 3項目 = 3.33 ≒ 3点（評価区分 C）
(9点 ÷ 3項目 = 3.00 = 3点（評価区分 C）)

◎ 全体評価

全体評価の結果 C（目標の達成に向けて概ね計画通り進んでいる） (単位:点)

大項目区分	A（5点）	B（4点）	C（3点）	D（2点）	E（1点）	合計
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	1 6 (1 2)	3 3 (1 2)	0 (1 6)	0 (0)	4 9 (4 0)
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	0 (0)	9 (6)	0 (2)	0 (0)	9 (8)
3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	0 (0)	0 (1 2)	1 2 (3)	0 (0)	0 (0)	1 2 (1 5)
4 その他業務運営に関する重要事項	0 (0)	4 (4)	6 (3)	0 (2)	0 (0)	1 0 (9)
合 計	0 (0)	2 0 (2 8)	6 0 (2 4)	0 (2 0)	0 (0)	8 0 (7 2)

※（ ）書きは新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない場合の評価点数

全体評価の結果
【平均点】80点 ÷ 25項目 = 3.20点 ≒ 3点(評価区分 C)
(72点 ÷ 25項目 = 2.88 ≒ 3点 (評価区分 C))

◎ 評価のまとめ

令和2年度の業績においては、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、各項目に掲げられた指標に対する実績が目標を大きく下回る状況が散見された。よって、評価に当たっては、まず同感染症について考慮しない評価を行った上で、同感染症を考慮した最終評価を行った。これについては、同感染症の拡大により患者数や手術件数などの落ち込みが見られ、地域医療の提供には一部影響を及ぼしたことが考えられるものの、それは法人の努力の範疇を超えた特殊事情によるものであることから、これを考慮した評価を最終評価としたものである。 その結果、小項目評価については、記述している通りであるが、大項目評価区分における「住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置」、「業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」、「財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置」及び「その他業務運営に関する重要事項」はすべてC評価となった。これにより全体評価もC評価となり、佐世保市総合医療センターの令和2年度の業績評価は中期目標・中期計画の達成に向けて概ね計画通り進んでいるという評価結果であり、適正かつ効率的な業務運営に努めていることが確認された。なお、今回の評価に当たっては、近年例を見ない新興感染症に対峙し感染症指定医療機関として地域の安全・安心を守る役割を果たしたことは特筆すべきことであった。
【特徴的な内容】 ① 令和2年度の業績評価については、ほとんどの項目で新型コロナウイルスの影響を受け、特に掲げられた指標においては単純に見て目標値に届かない項目が多く見受けられた。感染症指定医療機関として感染症の患者を受け入れる一方で、救命救急センターとしては一般の重篤な救急患者を受け入れるなど、コロナ禍において地域医療の中心的役割を果たしつつ、関係機関等とも連携して市民に安全安心な医療を提供した。 ② がん医療においては、遺伝性腫瘍に対する治療体制の充実が図られたほか、昨年度、がんゲノム医療連携病院に指定されたことにより個別治療が充実するなど、地域がん診療連携拠点病院として積極的な取り組みが続けられている。一方では、がんの相談件数が伸びており、医療の技術のみならず、患者やその家族に寄り添った医療提供がなされている。 ③ 新型コロナウイルスに関する医療の提供として、外来においては、発熱及び呼吸器症状などを有する外来患者の診察を行うためコンテナ診察室を設置し、その運用を開始した。また入院については必要病床を確保し、令和2年度中に延べ81名の患者を受け入れている。重症例については、ECMO（体外式膜型人工肺）を使用するなど、地域の安全・安心を守る役割を果たした。また、離島医療については黒島診療所の常勤医を確保したことで、高島を含む離島診療所の診療体制の安定化に繋げるなど、政策医療の充実に努めた。 ④ 令和2年度の収支は、増収増益で、純利益19億2千5百万円の黒字決算となった。この主な理由としては、新型コロナウイルス感染症で患者数が減少した影響により医業収益は大きく減収したものの、コロナ患者受け入れのための病床確保などに対する補助金収入が対前年度比で皆増したこと。逆に支出側では、患者数の減少に伴い材料費が大きく減少したことなどによるものである。今後、新型コロナが収束する中、減少した患者数が従来の状態に戻るタイミングが見通しにくい、国の助成措置は不透明なことから、それまでの間は一時的にも厳しい経営状況に陥ることが懸念される。